



茨城県

茨城の水産

令和2年 12 月

茨 城 県

はじめに

本県は、沖合に親潮と黒潮が交錯する豊かな漁場を持つ水産県であり、令和元年の海面漁業生産量が26万3,100トン（速報値）と、平成元年以来30年ぶりに北海道に次ぐ全国第2位となりました。内水面においては、霞ヶ浦北浦、澗沼等の湖沼や利根川、久慈川、那珂川等の河川を有し、令和元年の内水面漁業生産量は2,605トン（速報値）で全国第4位となりました。

水産加工業については、沿海地区の生鮮冷凍水産物や塩干品、霞ヶ浦北浦地区の煮干しや佃煮をはじめとする様々な加工品が生産されており、令和元年の水産加工品生産量が17万1,545トンで全国第4位となっています。

このように全国トップクラスの生産量を誇る一方で、本県の水産業は、漁業者の高齢化や減少、国内需要の縮小に伴う魚価低迷の常態化などの様々な課題を抱えています。県としましては、こうした情勢においても本県水産業を大きく飛躍させるため、平成30年度策定の県総合計画に「水産業の成長産業化」や「県食材の国内外への販路拡大」を掲げ、担い手の確保育成や沿岸漁業経営体の規模拡大を図るとともに、漁獲物の高付加価値化や量販店での水産物フェア開催などによる茨城ブランドの確立と販路拡大に取り組んでおります。このほか、漁港の整備と水産加工場の用地造成を進め、漁業と水産加工業が一体となった強い産地づくりを推進しているところです。

さて、令和2年度は、70年ぶりに大改正された漁業法並びに水産業協同組合法が令和2年12月に施行され、水産業を取り巻く新たな法制度の運用が始まったとともに、新型コロナウイルス感染症が本県水産業にも多大な影響を及ぼしております。

県としましては、これら新たな課題に対しても、引き続き水産業関係者や国及び市町村等と連携し、本県水産業の振興にしっかりと努めてまいります。

本書は、本県水産業の現状や動向を、データを基に紹介することにより、関係各位の参考資料として活用されるとともに、水産業に対して認識を進めていただきたく編集いたしました。本書が本県水産業の発展にお役にたてれば幸いと存じます。

令和2年12月

農林水産部次長兼漁政課長
益子 知樹

目次

トピックス

1	水産試験場内水面支場の研究施設の完成	1
2	新型コロナウイルス感染症にかかる本県水産業への影響について	2
3	水産政策改革（漁業法の改正等）について	3
4	沿岸漁業経営体の法人化促進の取り組みについて	4
5	初心者を対象にしたアユ友釣り教室を久慈川で開催！	5
6	インターネットによる産直販売の取組について	6
7	ワカサギ人工ふ化における水槽内自然産卵法の導入について	7
8	茨城県の海面漁業生産量（属人）が令和元年に全国第2位に！	8

主要統計数値

茨城県の水産業生産量	10
茨城県の水産業産出額	
茨城県の生産量上位10種	
海面経営体階層別漁業経営体数	11
海面経営組織別経営体数	
海面年齢階層別漁業就業者数	
内水面経営体階層別経営体数	

解説編

I 本県水産業の概況

1	海面	14
2	霞ヶ浦北浦	
3	内水面	

II 漁業生産

1	海面漁業 — 漁業生産（属人）の動向 —	16
	（1）各漁業部門と漁業種類別の動向	
	（2）栽培漁業対象種の生産量と生産額	
2	霞ヶ浦北浦の漁業・養殖業	22
	（1）各漁業部門と漁種別の動向	
	（2）養殖業の動向	
3	内水面漁業養殖業（霞ヶ浦北浦を除く）	24
4	国内生産の動向	26
	（1）日本の漁業養殖業	
	（2）日本の水産物貿易	

III 漁業就業構造と漁業経営

1	経営体及び漁業就業者の動き	28
	（1）海面	
	（2）霞ヶ浦北浦	

IV 漁船と漁港

1	漁船	31
2	漁港	32
	（1）海面	
	（2）霞ヶ浦北浦とその他内水面	

V 水産物の流通と水産加工	
1 水産物の流通	34
2 水産加工	36
(1) 水産加工業の地域別特色	
(2) 加工生産量の推移	
3 水産物の輸出	37
(1) 輸出の現状	
(2) 輸出の課題とその対応	
VI 水産業協同組合等	
1 水産業協同組合	38
(1) 合併等による漁協の再編(沿海地区)	
(2) 合併等による漁協等の再編(霞ヶ浦北浦地区、内水面地区及び水産加工協)	
2 金融	40
VII 漁業制度	
1 漁業権漁業	41
2 知事許可漁業	41
3 大臣許可漁業及び大臣承認・届出漁業	42
4 漁獲可能量(TAC)及び漁獲努力可能量(TAE)制度	43
(1) 漁獲可能量(TAC)及び漁獲努力可能量(TAE)制度の概要	
(2) 漁獲可能量(TAC)及び漁獲努力可能量(TAE)制度の管理	
5 遊漁関係	46
(1) 遊漁船業	
VIII 原発事故への対応	
1 出荷制限	47
2 損害賠償	47
3 風評被害とその対応	47
IX 令和元年度に講じた水産業振興施策の概要	
1 漁業経営の強化と担い手の育成	48
2 つくり育て管理する漁業の推進	48
3 漁業と水産加工業の連携強化	48
4 水産物の販路拡大	49
5 元気な漁村づくり	50
6 霞ヶ浦北浦・内水面の水産業の振興	50

資 料 編

第1 総論	
1-1 海面漁業・養殖業における地位	52
1-2 内水面漁業・養殖業における地位	52
1-3 経済活動別県内総生産	53
第2 漁業生産	
2-1 海面の漁業生産量及び産出額の推移(属人)	54
2-2 海面の漁業種類別生産量の推移(属人)	55
2-3 海面の魚種別生産量及び産出額の推移(属人)	56

2-4	海面の主要魚種別生産量（属人）の推移	57
2-5	霞ヶ浦北浦の漁業、養殖業生産量の推移	59
2-6	霞ヶ浦北浦の漁業種類別生産量の推移	59
2-7	霞ヶ浦北浦の湖別、魚種別生産量の推移	60
2-8	霞ヶ浦北浦の魚種別生産量の推移	61
2-9	内水面の漁業、養殖業生産量の推移	62
2-10	内水面の河川・湖沼別、魚種別生産量	62
2-11	内水面の魚種別生産量の推移	63

第3 漁業生産構造と漁業経営

3-1	海面の主とする漁業種類別及び営んだ漁業種類別経営体数の推移	64
3-2	霞ヶ浦北浦の主とする漁業種類別及び営んだ漁業種類別経営体数の推移	65
3-3	海面の性別、年齢階層別漁業就業者数の推移	66
3-4	新規学卒者の産業別就職動向	66

第4 漁船と漁港

(1) 漁船

4-1	漁船総勢力	67
4-2	海水動力漁船の構成	67
4-3	淡水動力漁船の構成	67

(2) 漁港

4-4	漁港一覧	68
4-5	港湾一覧	69
4-6	漁港整備基本計画	69
4-7	漁港海岸整備計画	70

第5 流通加工

5-1	水産加工品の生産量の推移	71
5-2	品目別水産加工品生産量	72
5-3	霞ヶ浦北浦の水産加工品生産量及び産出額の推移	73
5-4	主要な消費地卸売市場での茨城県産水産物の取扱状況	74
5-5	生鮮魚介類の消費状況	75
5-6	水産加工品輸出状況	76

第6 水産業協同組合等

(1)	水産業協同組合	77
6-1	協同組合の状況	78
6-2	事業実施状況	78
(2)	金融	
6-3	信漁連における信用事業総量の推移	78
6-4	水産制度資金の利用状況	78
(3)	水産災害対策	
6-5	漁業共済の加入状況の推移	79
6-6	漁船保険の加入状況の推移	79
6-7	漁船保険加入漁船の事故件数及び支払保険金の推移	79
6-8	漁業経営セーフティネット（漁業用燃油）の加入件数及び支払補填金の推移	79

第7 漁業制度

7-1	茨城海区の漁業権免許漁場	80
7-2	海面の漁業権漁場及び許可漁業操業区域図	81
7-3	海面における知事許可漁業許（認）可現況	82
7-4	茨城海区漁業調整委員会指示に基づく操業承認隻数の推移	83
7-5	他県の漁業調整委員会からの承認現況	83
7-6	他県の知事許可漁業の現況	83
7-7	指定漁業、届出漁業の現況	84
7-8	漁獲可能量（TAC）制度	85
7-9	漁獲努力管理量（TAE）制度	85
7-10	遊漁船業者の登録現況	86
①	経営組織別、専兼別経営体数	
②	規模（保有船数）別経営体数	
③	漁船・漁船外別、トン数階層別遊漁船数	
7-11	遊漁船業の推移	87
7-12	霞ヶ浦北浦海区の漁業権免許状況	88
①	共同漁業権	
②	区画漁業権	
7-13	霞ヶ浦北浦海区の漁場図（霞ヶ浦）	89
7-14	霞ヶ浦北浦海区の漁場図（北浦）	90
7-15	霞ヶ浦北浦海区の知事許可漁業の許可現況	91
7-16	内水面の漁業権免許状況	92
7-17	内水面の漁業権免許現況図	93
7-18	内水面の採捕許可現況	94

第8 漁場保護および水産増殖

8-1	沿岸漁場整備対策実績	95
①	漁場整備事業	
②	漁場環境保全創造事業（旧大規模漁場保全事業）	
8-2	あわびの放流事業実績	96
8-3	海面における種苗放流実績	96
8-4	霞ヶ浦北浦における放流実績	97
8-5	内水面における放流事業実績	98

第9 その他

9-1	水産関係予算額（一般会計当初予算）	99
9-2	水産行政機構一覧	100
9-3	市町村水産主務課名簿	101
9-4	水産業協同組合名簿	102
①	地区漁業協同組合	
②	業種別漁業協同組合	
③	水産加工業協同組合	
④	協同組合連合会	
9-5	その他の水産関係団体、協議会等	105